

「心を耕す」



日本国際飢餓対策機構
エマ・トレイル先生



日本国際飢餓対策機構

Japan International Food for the Hungry (JIFH)

ハンガー・ゼロ 活動紹介 & 報告

私たちの世界の飢餓現状

- 飢餓とは？

- 生きるために最低必要なエネルギーや栄養をとることができない状態が長く続くことを「飢餓」と呼ぶ。

- 世界飢餓の、大きな数字

- 70億人のうち、900万人・17万人・17人・1人。

- ヒロシマでは15万人・東北では19万人。

- 食糧が足りない訳ではない

- 世界で生産される穀物の分配が偏っている。

- 日本では食料の6割以上は輸入品。更にその3割に当たる量が毎年廃棄される。(2000万トン)

アフリカからスタート!! ① 現状

- 世界で飢餓問題が最大
 - サハラ以南のアフリカでは飢餓の人口比率が32%、また、中東・北アフリカでは飢餓の増加率が13.5%、どちらも世界最大。
- 貧困と紛争の悪循環
 - 食糧、水、現金に替わる資源を手にしようと、国内外紛争と不安定が続き、避難民が増加。
- 「遠くて近い」アフリカ
 - 広い大陸と資源の豊かさに伴い、可能性に溢れている国でもある。資源あつての貧しさ。
 - 私たちは日々、生活の中でアフリカに頼って生きる。

アフリカからスタート!! ② ビジョン

- 緊急支援、食糧支援
- 教育支援、給食支援を通して次の世代に働きかける。
- Vision of Community
 - 御国のように小さく始まり、一人ひとりの変えられた心・考え方・生き方から広がる動き。
 - 深刻な貧困に苦しむ地域を優先として、諸教会でセミナーを開催し、地域のリーダーとなる人財育成。
 - 現地の人に、現地の資源でできることに集中し、JIFHがバックアップとして、継続的な自立開発活動を目指す。
 - アフリカの資源が、アフリカの自立につながる
- ハンガー・ゼロ世界(飢餓撲滅)の実現が最終目的



2013年度 ルワンダ
夏のスタディー&ワークキャンプ報告

ルワンダにおけるJIFHの働き

- 2006年から現地団体「REACH」と協力
 - Reconciliation, Evangelism And Christian Healing
 - 平和構築プログラムに協力。
 - 来月から河合朝子スタッフを派遣予定。
- ピース・インターナショナル・スクールを支援
 - 子どもの教育支援（世界里親会）。
- なぜ和解の働きに・・・？
 - 貧困と紛争の悪循環。平和構築は極めて重要。
 - 「支援」よりも「学ぶ」姿勢で。

「千の丘の国」を訪ねて

- 虐殺の暗い歴史を抱えるルワンダ
 - ツチ族を浄化することを目的に、1994年4月から100日間に約100万人が虐殺。
 - ベルギー植民地時代に民族が分けられ、虐殺当時はフツ族が人口の85%、ツチ族が15パーセント。
- 先頭に立って和解の働きを進めるREACH
 - 聖書に基づくゆるし、和解、癒しを中心に活動。
- 和解だけで終わらず、平和を作り、自立へ
 - 世界的にピースメーカーキングの模範として。
 - 和解を土台に、自立開発プログラムに取り組む。

PK2+800

NTARAMA

URWIBUTSO RWA JENOSIDE









和解の働きの流れ

- 様々なセミナーから始まる癒し
 - 生存者から始まり、今は加害者も参加
 - ルワンダの歴史や聖書から学んで、お互いの証言を聞き、赦し赦され、和解のプロセスが始まる場。
- 和解を持続させてくれるユニティーグループ
 - 和解された人々が、ミックスされたグループとなって交流を続けることによって「一致」を育てる環境。
- 和解を土台に、自立開発プログラムへ
 - 各グループが、共通の趣味から始めて、地域の発展とつながるプロジェクトに取り組む。





自立開発の働き

- 各グループが開発プロジェクトをもつ
 - 石鹼作り
 - サッカーチーム
 - 伝統ダンス
 - クワイアー
 - 農業系(畑や豚をグループでもつ)



エレミヤ書 4 章 3 節



「まことに主は、ユダの人とエルサレムとに、こう仰せられる。
『耕地を開拓せよ。いばらの中に種を蒔くな。』」 <新改訳>



ルワンダに行って教えられたこと
「固くなったところを耕せ」

エレミヤ書4章3節

「耕地を開拓せよ。いばらの中に種を蒔くな。」

- 私たちの心の耕地とは？
- 日々どんな作業が必要なのか？
- 放置状態の耕地のいばらとは？
– マタイの福音書13章の7、22節

良いものを実らせるころ

- 私たちのころは今どんな状態？
- これから、どんな作業が日々必要？
- 神さまは、どんな良いものを植えようと、どんな実を結ばせようとしておられるのか？
- 福音に応答する者として、世界に変革をもたらすクリスチャンとして生きるなら、固くならないよう、自分の心を日々耕し続ける大切さ。



2013年10月6日 世界食糧デー 広島大会

こども

「世界を変える希望のために」